

対象校No. 277

注4

学校コード F101310100230

注3

設置年度 令和 8年度

計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置

注1

届出

注2

北海道医療大学 臨床データサイエンス学環

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人東日本学園  
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部総務企画課

職名・氏名 カカリイシクラマイ  
係・石倉麻衣

電話番号 0133-22-2111

(夜間) 0133-23-1211

e-mail soumu@hoku-iryo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・「〇〇短期大学 △△学科」

・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」

・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、

該当番号を記載してください。

# 目次

臨床データサイエンス学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	12
4. 既設大学等の状況 . . . . .	13
5. 教育研究実施組織の状況 . . . . .	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	31
7. その他全般的事項 . . . . .	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東日本学園

## (2) 大学名

北海道医療大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒061-0293 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スズキ エイジ) 鈴木英二 (令和7年6月)		
学長	(ミクニ クミ) 三国久美 (令和7年6月)		
学環長	(ニヘイ ヒロユキ) 二瓶裕之 (令和8年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和8年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
臨床「リハビリ」看護学 学士(臨床科学)	社会学・社会福祉学関係 保健衛生学関係(看護学関係) 保健衛生学関係(リハビリテーション関係) 保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	15人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	60人	-	連携協力学部 (I) 看護福祉学部 看護学科 福祉マネジメント学科 (II) 心理科学部 臨床心理学科 (III) リハビリテーション科学部 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚療法学科 (IV) 医療技術学部 臨床検査学科

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A	入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	15 ( ) [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳	0.53倍		
	志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	81 ( ) [ ]				
	受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	81 ( ) [ ]				
	合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	58 ( ) [ ]				
B	入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	8 ( ) [ ]				
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.53				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	8 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」のように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数 (a)}}{\text{令和8年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<臨床データサイエンス学環>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を除く(→助手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	文章指導(文章指導)	1前	○	2			1	1	1			6
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前		2								1
	人間と思想(生命倫理学入門)	1後		2								1
	英語Ⅱ(英語A)	1前		1								1
	英語Ⅱ(英語B)	1後		1								1
	運動科学(運動科学論)	1前		2								3
	運動科学演習(運動科学演習)	1後		1								3
	情報科学(情報科学)	1後	○	2			1		1			
	情報処理演習(情報処理演習Ⅰ)	1前	○	1			1		1			
	情報処理演習(情報処理演習Ⅱ)	1前	○	1					1	1		
	統計学(基礎統計学)	1前	○	2						1		
	生物学(基礎生物学)	1前	○	2				1				
	生物学(基礎生理学)	1前	○	2				1				
	法学(法学概論)	1前			2							1
	法学(日本国憲法)	1後			2							1
	人類学(文化人類学)	1後			2							1
	人類学(医療人類学)	2前			2							1
多職種連携(多職種連携入門)	1前	○	2			1					34	
多職種連携(多職種連携演習)	3前	○	1			1					20	
多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)	4前	○	2								22	
地域連携(地域ポランティア論)	1前			2							1	
医療倫理(医療倫理学)	2前	○	2								1	
小計(22科目)	-	-	-	19	19	0	3	1	1	1	0	75
医療系基礎教育科目	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅰ)	1後	○	2								1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅱ)	1後	○	2								1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅲ)	2前	○	2								1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅳ)	2前	○	2								1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅴ)	2後	○	2								1
	心理学概論	1前	○	2								1
	臨床心理学概論	1後	○	2								1
	健康・医療心理学Ⅰ	2後	○	2								1
	社会福祉概論	1前	○	2			1					3
	リハビリテーション概論	1前	○	1			1					6
	障がい者当事者論	2前	○	1								5
	臨床検査学	1前	○	1								6
	医用工学概論	2前	○	1								1
小計(13科目)	-	-	-	22	0	0	2	0	0	0	0	24
医療系専門教育科目(医療DX科目)	医療情報科学	2・3前			1							1
	歯学概論	2・3通			2							32
	組織学・発生学	2・3通			5							6
	病理学・口腔病理学	2・3通			5							16
	臨床口腔病理学	2・3前			2							12
	臨床画像解析学	2・3前			1							5
	歯科放射線学Ⅱ	2・3通			2							3
	調剤学	2・3後			1							4
	医薬品情報学	2・3後			1		1					1
	実務薬学	2・3前			2							3
	薬剤疫学	2・3後			1							1
	地域医療学	2・3前			2							4
	薬用植物学	2・3後			1							1
	生薬学	2・3前			2							2
	漢方薬学概論	2・3前			1							1
	社会歯科学	2・3後			1							7
	医療推計学	2・3前			1							2
	ヘルスエコノミクス	2・3前			1							3
レギュラトリーサイエンス	2・3前			1							1	
臨床検査管理学Ⅰ	2・3前			2							5	
臨床検査管理学Ⅱ	2・3前			2							3	
小計(21科目)	-	-	-	0	37	0	1	0	0	0	0	86

【令和8年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を除く(→助手)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学教育科目	文章指導(文章指導)	1前	○	2				1	1	1			6
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前			2								1
	人間と思想(生命倫理学入門)	1後			2								1
	英語Ⅱ(英語A)	1前			1								1
	英語Ⅱ(英語B)	1後			1								1
	運動科学(運動科学論)	1前			2								3
	運動科学演習(運動科学演習)	1後			1								3
	情報科学(情報科学)	1後	○	2				1		1			
	情報処理演習(情報処理演習Ⅰ)	1前	○	1				1		1			
	情報処理演習(情報処理演習Ⅱ)	1前	○	1						1	1		
	統計学(基礎統計学)	1前	○	2							1		
	生物学(基礎生物学)	1前	○	2					1				
	生物学(基礎生理学)	1前	○	2					1				
	法学(法学概論)	1前			2								1
	法学(日本国憲法)	1後			2								1
	人類学(文化人類学)	1後			2								1
	人類学(医療人類学)	2前			2								1
多職種連携(多職種連携入門)	1前	○	2					2				31	
多職種連携(多職種連携演習)	3前	○	1					1				18	
多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)	4前	○	2									18	
地域連携(地域ポランティア論)	1前			2								1	
医療倫理(医療倫理学)	2前	○	2									1	
小計(22科目)	-	-	-	19	19	0	3	1	1	1	0	68	
医療系基礎教育科目	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅰ)	1後	○	2									1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅱ)	1後	○	2									1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅲ)	2前	○	2									1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅳ)	2前	○	2									1
	人の体を学ぶ(臨床解剖疾病学Ⅴ)	2後	○	2									1
	心理学概論	1前	○	2									1
	臨床心理学概論	1後	○	2									1
	健康・医療心理学Ⅰ	2後	○	2									1
	社会福祉概論	1前	○	2			1						0
	リハビリテーション概論	1前	○	1			1						6
	障がい者当事者論	2前	○	1									5
	臨床検査学	1前	○	1									6
	医用工学概論	2前	○	1									1
小計(13科目)	-	-	-	22	0	0	2	0	0	0	0	21	
医療系専門教育科目(医療DX科目)	医療情報科学	2・3前	○		1								1
	歯学概論	2・3通	○		2								28
	組織学・発生学	2・3通	○		5								5
	病理学・口腔病理学	2・3通	○		5								16
	臨床口腔病理学	2・3前			2								12
	臨床画像解析学	2・3前			1								5
	歯科放射線学Ⅱ	2・3通			2								3
	調剤学	2・3後			1								4
	医薬品情報学	2・3後			1		1						1
	実務薬学	2・3前			2								3
	薬剤疫学	2・3後			1								1
	地域医療学	2・3前			2								4
	薬用植物学	2・3後	○		1								1
	生薬学	2・3前	○		2								2
	漢方薬学概論	2・3前	○		1								1
	社会歯科学	2・3後	○		1								7
	医療推計学	2・3前	○		1								2
	ヘルスエコノミクス	2・3前	○		1								3
レギュラトリーサイエンス	2・3前	○		1								1	
臨床検査管理学Ⅰ	2・3前	○		2								5	
臨床検査管理学Ⅱ	2・3前	○		2								3	
小計(21科目)	-	-	-	0	37	0	1	0	0	0	0	82	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手以外)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療系専門教育科目(保健DX科目)	食品衛生学	2・3前		1								2
	健康食品学	2・3後		1								5
	環境衛生学	2・3後		2								1
	毒性影響と評価	2・3前		1								3
	公衆衛生学Ⅰ	2・3前		1								1
	公衆衛生学Ⅱ	2・3後		1								1
	医療概論	2・3前		1								5
	臨床心理学	2・3後		2								2
	ヘルスプロモーション論	2・3後		1								2
	社会保障論	2・3通		4								1
	公的扶助論	2・3前		2								1
	公衆衛生学(薬学部)	2・3前		2								1
	公衆衛生学(歯学部)	2・3後		2								5
	公衆衛生学(心理科学部)	2・3後		2					1			1
	公衆衛生学(リハビリテーション科学部)	2・3後		1								1
小計(15科目)	-	-	0	24	0	0	0	0	1			27
医療系専門教育科目(看護DX科目)	看護学原論	2・3前		2								1
	地域在宅看護学	2・3前		2								2
	成人看護学	2・3後		2			1					2
	老年看護学	2・3前		2								5
	小児看護学	2・3後		2								3
	母性看護学	2・3前		2								2
	精神看護学	2・3後		2								5
	保健医療福祉制度と看護	2・3後		1			1					5
	看護技術論	2・3後		2								1
	看護技術各論Ⅰ	2・3前		1								3
	看護技術各論Ⅱ	2・3後		1								2
	在宅看護学各論	2・3後		1								6
	キャリア開発論Ⅰ	2・3後		1								1
	看護倫理	2・3前		2			1					5
	がん看護学	2・3前		2								2
	セルフマネジメント支援論	2・3後		1			1					1
	クリティカルケア論	2・3前		1								1
	セルフマネジメント論	2・3後		2			1					3
	看護管理論	2・3前		2								1
小計(19科目)	-	-	0	31	0	1	1	0	0	0		33
医療系専門教育科目(福祉DX科目)	地域共生社会演習Ⅰ	2・3通		2								3
	アダプテッド・スポーツ演習	2・3前		1								1
	理学療法概論	2・3前		1								2
	音楽療法	2・3前		1								3
	レクリエーションスポーツマネジメント	2・3前		2								1
	障害者福祉論	2・3後		2								1
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2・3前		2			1					2
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2・3後		2								2
	福祉と当事者のリアルⅠ	2・3前		1								4
	児童福祉論	2・3後		2								1
	スクールソーシャルワーク論	2・3前		2								2
	発達心理学Ⅱ	2・3後		2								2
	認知症ケア論	2・3前		2								1
	家族療法	2・3前		2								1
	マーケティング論	2・3前		2								3
	マネジメント論	2・3後		2								1
	権利擁護・成年後見制度論	2・3前		2								1
	リハビリテーション論	2・3前		2								3
	高齢者福祉論	2・3前		2					1			4
	認知症と生活支援	2・3後		2					1			4
小計(20科目)	-	-	0	36	0	1	0	1	0	0		28

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手以外)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療系専門教育科目(保健DX科目)	食品衛生学	2・3前		1								2
	健康食品学	2・3後		1								5
	環境衛生学	2・3後		2								1
	毒性影響と評価	2・3前		1								3
	公衆衛生学Ⅰ	2・3前		1								1
	公衆衛生学Ⅱ	2・3後		1								1
	医療概論	2・3前		1								4
	臨床心理学	2・3後		2								2
	ヘルスプロモーション論	2・3後		1								2
	社会保障論	2・3通		4								1
	公的扶助論	2・3前		2								1
	公衆衛生学(薬学部)	2・3前		2								1
	公衆衛生学(歯学部)	2・3後		2								5
	公衆衛生学(心理科学部)	2・3後		2						1		1
	公衆衛生学(リハビリテーション科学部)	2・3後		1								1
小計(15科目)	-	-	0	24	0	0	0	0	1			26
医療系専門教育科目(看護DX科目)	看護学原論	2・3前		2								1
	地域在宅看護学	2・3前		2								2
	成人看護学	2・3後		2				1				2
	老年看護学	2・3前		2								5
	小児看護学	2・3後		2								3
	母性看護学	2・3前		2								1
	精神看護学	2・3後		2								5
	保健医療福祉制度と看護	2・3後		1				1				5
	看護技術論	2・3後		2								1
	看護技術各論Ⅰ	2・3前		1								3
	看護技術各論Ⅱ	2・3後		1								2
	在宅看護学各論	2・3後		1								6
	キャリア開発論Ⅰ	2・3後		1								1
	看護倫理	2・3前		2			1					5
	がん看護学	2・3前		2								2
	セルフマネジメント支援論	2・3後		1				1				1
	クリティカルケア論	2・3前		1								1
	セルフマネジメント論	2・3後		2			1					3
	看護管理論	2・3前		2								1
小計(19科目)	-	-	0	31	0	1	1	0	0	0		32
医療系専門教育科目(福祉DX科目)	地域共生社会演習Ⅰ	2・3通		2								3
	アダプテッド・スポーツ演習	2・3前		1								1
	理学療法概論	2・3前		1								2
	音楽療法	2・3前		1								3
	レクリエーションスポーツマネジメント	2・3前		2								1
	障害者福祉論	2・3後		2								1
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2・3前		2				1				2
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2・3後		2								2
	福祉と当事者のリアルⅠ	2・3前		1								4
	児童福祉論	2・3後		2								1
	スクールソーシャルワーク論	2・3前		2								2
	発達心理学Ⅱ	2・3後		2								2
	認知症ケア論	2・3前		2								1
	家族療法	2・3前		2								1
	マーケティング論	2・3前		2								3
	マネジメント論	2・3後		2								1
	権利擁護・成年後見制度論	2・3前		2								1
	リハビリテーション論	2・3前		2								3
	高齢者福祉論	2・3前		2						1		4
	認知症と生活支援	2・3後		2						1		4
小計(20科目)	-	-	0	36	0	1	0	1	0	0		28

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を助手として除く
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療系専門教育科目（心理DX科目）	学習・言語心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	学習・言語心理学Ⅱ	2・3後		2								1
	知覚・認知心理学	2・3前		2								1
	感情・人格心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	感情・人格心理学Ⅱ	2・3前		2								1
	教育・学校心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	教育・学校心理学Ⅱ	2・3後		2								1
	司法・犯罪心理学	2・3後		2		1						1
	心理学研究法	2・3前		2								1
	心理学統計法Ⅰ	2・3後		2								1
	心理学統計法Ⅱ	2・3前		2								1
	心理情報処理	2・3前		2								1
	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	産業・組織心理学	2・3後		2								1
	労働安全衛生論	2・3後		2								1
	行動経済学	2・3後		2								1
	障害者・障害児心理学	2・3前		2								1
	福祉心理学	2・3後		2								1
	健康・医療心理学Ⅱ	2・3前		2								1
	心理学的支援法Ⅰ	2・3前		2								1
	心理学的支援法Ⅱ	2・3後		2								1
	発達心理学Ⅰ	2・3前		2								1
	小児科学	2・3前		2								1
	精神疾患とその治療	2・3前		2								1
小計(24科目)	-	-	0	48	0	1	0	0	0	0	0	15
基幹教育科目	数理・アルゴリズム	1前	○	2			1		1			
	プログラミング演習	1前	○	2				1	1			
	データサイエンス実習	1前	○	2		2		2	1			
	ニューラルネットワーク基礎	1後	○	2		1		1				
	ニューラルネットワーク演習	1後	○	2		1		1	1			
	ニューラルネットワークプロジェクト実習	1後	○	2		1		1	1			
	医療データサイエンス入門Ⅰ	2前	○	2		1		1				
	畳み込みニューラルネットワーク基礎	2前	○	2		1		1				
	画像認識演習	2前	○	2				1	1			
	画像認識プロジェクト実習	2前	○	2				1	1			
	医療データサイエンス入門Ⅱ	2後	○	2		1		1				
	データ・テキスト生成AI	2後	○	2		1		1				
	クラウド生成AI演習	2後	○	2		1		1			1	
	生成AI活用プロジェクト実習	2後	○	2		1		1			1	
	ロボットプログラミング実習	2後	○	2				1				
	AIプロジェクト基礎	3前	○	2			1					
	医療AIプロジェクト演習	3前	○	2			1	1	1			
	データサイエンス・AIプロジェクト実習	3通	○	2				1	1			
	マルチモーダル生成AI	3後	○	2		1						
	ローカル生成AI構築演習	3後	○	2				1	1			
	データ駆動プロジェクト実習(インターンシップ)	3通	○	2		3		2	1			
	卒業研究Ⅰ	3後	○	2		6	2	2	1			
	卒業研究Ⅱ	4通	○	6		6	2	2	1			
小計(23科目)	-	-	50	0	0	6	2	2	1	0	0	
合計(157科目)	-	-	91	195	0	6	2	2	1	0	219	
卒業要件及び履修方法												
全学教育科目27単位以上(うち必修19単位、選択8単位)、医療系基礎教育科目22単位(うち必修22単位)、医療系専門教育科目25単位以上(うち選択25単位)、基幹教育科目50単位(うち必修50単位)を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:55単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を助手として除く
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療系専門教育科目（心理DX科目）	学習・言語心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	学習・言語心理学Ⅱ	2・3後		2								1
	知覚・認知心理学	2・3前		2								1
	感情・人格心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	感情・人格心理学Ⅱ	2・3前		2								1
	教育・学校心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	教育・学校心理学Ⅱ	2・3後		2								1
	司法・犯罪心理学	2・3後		2		1						1
	心理学研究法	2・3前		2								1
	心理学統計法Ⅰ	2・3後		2								1
	心理学統計法Ⅱ	2・3前		2								1
	心理情報処理	2・3前		2								1
	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2・3後		2								1
	産業・組織心理学	2・3後		2								1
	労働安全衛生論	2・3後		2								1
	行動経済学	2・3後		2								1
	障害者・障害児心理学	2・3前		2								1
	福祉心理学	2・3後		2								1
	健康・医療心理学Ⅱ	2・3前		2								1
	心理学的支援法Ⅰ	2・3前		2								1
	心理学的支援法Ⅱ	2・3後		2								1
	発達心理学Ⅰ	2・3前		2								1
	小児科学	2・3前		2								1
	精神疾患とその治療	2・3前		2								1
小計(24科目)	-	-	0	48	0	1	0	0	0	0	0	15
基幹教育科目	数理・アルゴリズム	1前	○	2			1		1			
	プログラミング演習	1前	○	2			1		1	1		
	データサイエンス実習	1前	○	2		2		2	1			
	ニューラルネットワーク基礎	1後	○	2		1		1				
	ニューラルネットワーク演習	1後	○	2		1		1	1			
	ニューラルネットワークプロジェクト実習	1後	○	2		1		1	1			
	医療データサイエンス入門Ⅰ	2前	○	2		1		1				
	畳み込みニューラルネットワーク基礎	2前	○	2		1		1				
	画像認識演習	2前	○	2				1	1			
	画像認識プロジェクト実習	2前	○	2				1	1			
	医療データサイエンス入門Ⅱ	2後	○	2		1		1				
	データ・テキスト生成AI	2後	○	2		1		1				
	クラウド生成AI演習	2後	○	2		1		1			1	
	生成AI活用プロジェクト実習	2後	○	2		1		1			1	
	ロボットプログラミング実習	2後	○	2				1				
	AIプロジェクト基礎	3前	○	2			1					
	医療AIプロジェクト演習	3前	○	2			1	1	1			
	データサイエンス・AIプロジェクト実習	3通	○	2				1	1	1		
	マルチモーダル生成AI	3後	○	2		1						
	ローカル生成AI構築演習	3後	○	2				1	1			
	データ駆動プロジェクト実習(インターンシップ)	3通	○	2		3		2	1			
	卒業研究Ⅰ	3後	○	2		6	2	2	1			
	卒業研究Ⅱ	4通	○	6		6	2	2	1			
小計(23科目)	-	-	50	0	0	6	2	2	1	0	0	
合計(157科目)	-	-	91	195	0	6	2	2	1	0	211	
卒業要件及び履修方法												
全学教育科目27単位以上(うち必修19単位、選択8単位)、医療系基礎教育科目22単位(うち必修22単位)、医療系専門教育科目25単位以上(うち選択25単位)、基幹教育科目50単位(うち必修50単位)を修得し、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:55単位(年間))												

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。

・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。  
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度】(新)→【令和7年度】(新)→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度】(旧)→【令和7年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和8年度】**

- ・担当教員変更及び退職の理由により、「多職種連携(多職種連携入門)」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。基幹教員以外の教員の配置を「34」から「31」に変更。
- ・担当教員退職の理由により、「多職種連携(多職種連携演習)」の基幹教員以外の教員の配置を「20」から「18」に変更。
- ・担当教員退職の理由により、「多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)」の基幹教員以外の教員の配置を「22」から「18」に変更。
- ・担当教員変更の理由により、「社会福祉概論」の基幹教員以外の教員の配置を「3」から「0」に変更。
- ・担当教員退職の理由により、「歯学概論」の基幹教員以外の教員の配置を「32」から「28」に変更。
- ・担当教員退職の理由により、「組織学・発生物学」の基幹教員以外の教員の配置を「6」から「5」に変更。
- ・担当教員退職の理由により、「医療概論」の基幹教員以外の教員の配置を「5」から「4」に変更。
- ・担当教員退職の理由により、「母性看護学」の基幹教員以外の教員の配置を「2」から「1」に変更。

- (注)・2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
  - ・不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
47 科目	110 科目	0 科目	157 科目	47 科目 [ 0 ]	110 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	157 科目 [ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△ 1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						【該当なし】
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						【該当なし】
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{157} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道医療大学歯学部 附属歯科衛生士専門学校と共用 収容定員:130人 150人 基準面積なし 収容定員変更(8) 校地等(その他)面積減 少に伴う変更(8)			
	校 舎 敷 地	98,662.63㎡	1,650.00㎡	0㎡	100,312.63㎡				
	そ の 他	44,342.74㎡ 57,315.74㎡	0㎡	0㎡	44,342.74㎡ -57,315.74㎡				
	合 計	143,005.37㎡ 155,978.37㎡	1,650.00㎡	0㎡	144,655.37㎡ 157,628.37㎡				
(2) 校 舎	専 用	71,300.60㎡	0㎡	0㎡	71,300.60㎡				
	( 71,300.60㎡ )	( 0㎡ )	( 0㎡ )	( 71,300.60㎡ )					
(3) 教室・教員研究室	教 室	44室	教員研究室	9室	大学全体				
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 標 本 点 点	学部等单位での特定不 能なため、大学全体の 数 新規購入又は除籍に伴 う変更(8)		
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	臨床データサイ エンス学環	236,000 [76,200] (236,905 [76,236]) <del>(236,030 [76,237])</del>	1,130 [95] (1,144 [95]) <del>(1,126 [95])</del>	10,900 [8,300] (11,161 [8,537]) <del>(10,905 [8,303])</del>	8,890 [7,255] (9,146 [7,487]) <del>(8,886 [7,253])</del>	77,511 (77,511)		2,185 (2,185)	
	計	236,000 [76,200] (236,905 [76,236]) <del>(236,030 [76,237])</del>	1,130 [95] (1,144 [95]) <del>(1,126 [95])</del>	10,900 [8,300] (11,161 [8,537]) <del>(10,905 [8,303])</del>	8,890 [7,255] (9,146 [7,487]) <del>(8,886 [7,253])</del>	77,511 (77,511)		2,185 (2,185)	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設		大学全体			
	1746.49㎡		0㎡	4166.85㎡					
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャー ナル・データベースの設備費 (運用コスト含)を含む
		教員1人当り研究費等	294千円	294千円	図書購入費	0千円	108千円	108千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金・寄付金・資産運用・雑収入他							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次 人 2年次 4 3年次 5	人		倍	倍	年度	年度					
薬学部	6	160		1000	-	0.91	-	-	昭和49	-				
薬学科	6	160		1000	学士(薬学)	0.91	-	-	平成18	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地				
歯学部	6	80	-	480	-	0.93	-	-	昭和53	-				
歯学科	6	80	-	480	学士(歯学)	0.93	-	-	昭和53	同上				
看護福祉学部	4	170	3年次 5	730	-	0.88	-	-	平成5	-				
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.25	1.22	-	平成5	同上				
福祉マネジメント学科	4	70	3年次 5	330	学士(臨床福祉学)	0.43	-	-	平成14	同上				
心理科学部	4	70	-	300	-	0.86	-	-	平成14	-				
臨床心理学科	4	70	-	300	学士(臨床心理学)	0.86	-	-	平成14	同上				
リハビリテーション科学部	4	180	-	720	-	1.00	-	-	平成25	-				
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.16	1.11	-	平成25	同上				
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.00	-	-	平成25	同上				
言語聴覚療法学科	4	60	-	240	学士(言語聴覚療法学)	0.78	-	-	平成27	同上				
医療技術学部	4	60	-	240	-	1.20	1.17	-	平成31	-				
臨床検査学科	4	60	-	240	学士(臨床検査学)	1.20	1.17	-	平成31	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目				
臨床データサイエンス学履	4	15	-	-	学士(臨床科学)	-	-	-	令和8	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	令和8年4月開設 学部等連携課程実施基本組織			
大学全体	-	735	2年次 4 3年次 10	3470	-	0.94	0.93	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。



教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基 (主専)	助教	米田 龍大 (31) <令和8年4月> 博士(臨床福祉学)	情報処理演習(情報処理演習Ⅰ) 統計学(基礎統計学) 公衆衛生学(心理科学部) 数値・アルゴリズム※ プログラミング演習 データサイエンス実習※ ニューラルネットワーク演習 ニューラルネットワークプロジェクト実習 画像認識プロジェクト実習 クラウド年度AI実習 年度AI活用プロジェクト実習 医療AIプロジェクト実習※ データサイエンス・AIプロジェクト実習 ローカル生成AI構築演習 データ駆動型プロジェクト実習(インターンシップ)※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		志水 幸 (62) 高 <令和8年4月> 社会学修士	社会福祉概論※ ソーシャルワーク論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (他)	教授	野田 昌道 (61) <令和8年4月> 教育学士	司法・犯罪心理学 データ駆動型プロジェクト実習(インターンシップ)※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		足利 俊彦 (62) 高 <令和8年4月> TESOL修士	文章指導(文章指導)
その他	教授	鈴木 俊彦 (62) 高 <令和8年4月> TESOL修士	文章指導(文章指導)
その他	教授	鈴木 一郎 (60) <令和8年4月> 博士(理学)	文章指導(文章指導)
その他	教授	山口 明彦 (63) 高 <令和8年4月> 博士(歯学)	健康・運動科学(運動科学論)※ 健康・運動科学演習(運動科学演習)※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	教授	花測 馨也 (59) <令和8年4月> 博士(社会学)	人文学(文化人類学) 人文学(医療人類学) 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	教授	越野 寿 (65) 高 <令和8年4月> 博士(歯学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実証演習)※ 歯学概論※
その他	教授	荒川 俊哉 (63) 高 <令和8年4月> 博士(歯学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 歯学概論※
その他	教授	飯田 貴俊 (42) <令和8年4月> 博士(歯学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実証演習)※ 歯学概論※
その他	教授	山田 律子 (59) <令和8年4月> 博士(看護学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 老年看護学※ 認知症と生活支援※
その他	教授	武田 涼子 (54) <令和8年4月> 修士(障害科学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(多職種連携演習)※
その他	教授	坂上 哲可 (62) 高 <令和8年4月> 博士(作業療法学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(多職種連携演習)※ リハビリテーション論※
その他	教授	遠藤 輝夫 (63) 高 <令和8年4月> 医学(博士)	多職種連携(多職種連携入門)※ 臨床検査学※ 臨床検査管理Ⅰ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基 (主専)	助教	米田 龍大 (31) <令和8年4月> 博士(臨床福祉学)	情報処理演習(情報処理演習Ⅰ) 統計学(基礎統計学) 公衆衛生学(心理科学部) 数値・アルゴリズム※ プログラミング演習 データサイエンス実習※ ニューラルネットワーク演習 ニューラルネットワークプロジェクト実習 画像認識プロジェクト実習 クラウド年度AI実習 年度AI活用プロジェクト実習 医療AIプロジェクト実習※ データサイエンス・AIプロジェクト実習 ローカル生成AI構築演習 データ駆動型プロジェクト実習(インターンシップ)※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		志水 幸 (62) 高 <令和8年4月> 社会学修士	社会福祉概論※ ソーシャルワーク論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
基 (他)	教授	野田 昌道 (61) <令和8年4月> 教育学士	司法・犯罪心理学 データ駆動型プロジェクト実習(インターンシップ)※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		足利 俊彦 (62) 高 <令和8年4月> TESOL修士	文章指導(文章指導)
その他	教授	鈴木 俊彦 (62) 高 <令和8年4月> TESOL修士	文章指導(文章指導)
その他	教授	鈴木 一郎 (60) <令和8年4月> 博士(理学)	文章指導(文章指導)
その他	教授	山口 明彦 (63) 高 <令和8年4月> 博士(歯学)	健康・運動科学(運動科学論)※ 健康・運動科学演習(運動科学演習)※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	教授	花測 馨也 (59) <令和8年4月> 博士(社会学)	人文学(文化人類学) 人文学(医療人類学) 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	教授	越野 寿 (65) 高 <令和8年4月> 博士(歯学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実証演習)※ 歯学概論※
その他	教授	荒川 俊哉 (63) 高 <令和8年4月> 博士(歯学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 歯学概論※
その他	教授	飯田 貴俊 (42) <令和8年4月> 博士(歯学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実証演習)※ 歯学概論※
その他	教授	山田 律子 (59) <令和8年4月> 博士(看護学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 老年看護学※ 認知症と生活支援※
その他	教授	武田 涼子 (54) <令和8年4月> 修士(障害科学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(多職種連携演習)※
その他	教授	坂上 哲可 (62) 高 <令和8年4月> 博士(作業療法学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(多職種連携演習)※ リハビリテーション論※
その他	教授	遠藤 輝夫 (63) 高 <令和8年4月> 医学(博士)	多職種連携(多職種連携入門)※ 臨床検査学※ 臨床検査管理Ⅰ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
その他	教授	橋本 晋次郎 (54) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)	多職種連携(多職種連携演習)※ 社会福祉概論※ ソーシャルワーク論Ⅱ※	その他	教授	橋本 晋次郎 (54) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)	多職種連携(多職種連携演習)※ ソーシャルワーク論Ⅱ※
その他	教授	常田 美和 (62) <令和8年4月> 博士(医学)	多職種連携(多職種連携演習)※ 母性看護学※				
その他	教授	本宮 寿洋 (60) <令和10年4月> 博士(作業療法学)	多職種連携(多職種連携演習)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※	その他	教授	本宮 寿洋 (60) <令和10年4月> 博士(作業療法学)	多職種連携(多職種連携演習)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	教授	田村 至 (65) <令和8年4月> 博士(医学)	多職種連携(多職種連携演習)※ リハビリテーション概論※				
その他	教授	浜上 尚也 (63) <令和9年4月> 博士(歯学)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 食品衛生学※ 毒性影響と評価※	その他	教授	浜上 尚也 (63) <令和9年4月> 博士(歯学)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 食品衛生学※ 毒性影響と評価※
その他	教授	永島 裕樹 (61) <令和9年4月> 博士(歯学)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 歯学概論※	その他	教授	永島 裕樹 (61) <令和9年4月> 博士(歯学)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 歯学概論※
その他	教授	竹生 礼子 (67) <令和9年4月> 博士(看護学)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 地域在宅看護学※ 在宅看護学各論※ セーフティマネジメント論※	その他	教授	竹生 礼子 (67) <令和9年4月> 博士(看護学)	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 地域在宅看護学※ 在宅看護学各論※ セーフティマネジメント論※
その他	教授	守田 玲菜 (49) <令和8年4月> 博士(医学)	人の体を学ぶ(臨床解剖生理学Ⅰ) 人の体を学ぶ(臨床解剖生理学Ⅱ) 人の体を学ぶ(臨床解剖生理学Ⅲ) 人の体を学ぶ(臨床解剖生理学Ⅳ) 人の体を学ぶ(臨床解剖生理学Ⅴ) 医療概論※				
その他	教授	高橋 亮 (64) <令和8年4月> 修士(教育学)	社会福祉概論※ 医療概論※ ソーシャルワーク論Ⅱ※ 認知症と生活支援※	その他	教授	高橋 亮 (64) <令和8年4月> 修士(教育学)	医療概論※ ソーシャルワーク論Ⅱ※ 認知症と生活支援※
その他	教授	小島 悟 (56) <令和8年4月> 博士(医学)	リハビリテーション概論※ 理学療法概論※	その他	教授	小島 悟 (56) <令和8年4月> 博士(医学)	リハビリテーション概論※ 理学療法概論※
その他	教授	鈴木 英樹 (59) <令和8年4月> 博士(保健学)	リハビリテーション概論※ 老年看護学※ 理学療法概論※	その他	教授	鈴木 英樹 (59) <令和8年4月> 博士(保健学)	リハビリテーション概論※ 老年看護学※ 理学療法概論※
その他	教授	吉田 繁 (57) <令和8年4月> 博士(医学)	臨床検査学※ 健康食品学※	その他	教授	吉田 繁 (57) <令和8年4月> 博士(医学)	臨床検査学※ 健康食品学※
その他	教授	丸川 活司 (55) <令和8年4月> 博士(医学)	臨床検査学※ 臨床検査管理学Ⅱ※	その他	教授	丸川 活司 (55) <令和8年4月> 博士(医学)	臨床検査学※ 臨床検査管理学Ⅱ※
その他	教授	古市 保志 (80) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※	その他	教授	古市 保志 (80) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※
その他	教授	斎藤 隆史 (62) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※	その他	教授	斎藤 隆史 (62) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※
その他	教授	伊藤 修一 (57) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※	その他	教授	伊藤 修一 (57) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※
その他	教授	細矢 明宏 (55) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※ 組織学・発生学※				
その他	教授	長澤 敏行 (64) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※	その他	教授	長澤 敏行 (64) <令和9年4月> 博士(歯学)	歯学概論※

教員区分	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	担当授業科目名
その他	教授	永野 嘉司 (54) <令和9年4月> 博士(歯学)	永野 嘉司 (54) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	舞田 健夫 (65) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)	舞田 健夫 (65) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	疋田 一洋 (65) 高 <令和9年4月> 歯学博士	疋田 一洋 (65) 高 <令和9年4月> 歯学博士
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	根津 尚史 (63) <令和9年4月> 博士(理学)	根津 尚史 (63) 高 <令和9年4月> 博士(理学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	志茂 剛 (57) <令和9年4月> 博士(歯学)	志茂 剛 (57) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	入江 一元 (65) 高 <令和9年4月> 歯学博士	入江 一元 (65) 高 <令和9年4月> 歯学博士
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	齊藤 正人 (60) <令和9年4月> 博士(歯学)	
		歯学概論※	
その他	教授	安彦 善裕 (66) 高 <令和9年4月> 歯学博士	安彦 善裕 (66) 高 <令和9年4月> 歯学博士
		歯学概論※ 病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	歯学概論※ 病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	教授	飯嶋 雅弘 (61) <令和9年4月> 博士(歯学)	飯嶋 雅弘 (61) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	照光 真 (66) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)	
		歯学概論※	
その他	教授	谷村 明彦 (64) 高 <令和9年4月> 理学博士	谷村 明彦 (64) 高 <令和9年4月> 理学博士
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	村田 勝 (65) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)	村田 勝 (65) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	會田 英紀 (58) <令和9年4月> 博士(歯学)	會田 英紀 (58) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	石井 久淑 (56) <令和9年4月> 博士(歯学)	石井 久淑 (56) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	高橋 伸彦 (57) <令和9年4月> 博士(医学)	高橋 伸彦 (57) <令和9年4月> 博士(医学)
		歯学概論※	歯学概論※
その他	教授	三浦 宏子 (67) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)	三浦 宏子 (67) 高 <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※ 社会歯科学※ 公衆衛生学(歯学部)※	歯学概論※ 社会歯科学※ 公衆衛生学(歯学部)※
その他	教授	柳川 芳敏 (58) <令和9年4月> 博士(薬学)	柳川 芳敏 (58) <令和9年4月> 博士(薬学)
		臨床画像解析学※	臨床画像解析学※
その他	教授	泉 剛 (62) <令和9年4月> 博士(医学)	泉 剛 (62) <令和9年4月> 博士(医学)
		臨床画像解析学※	臨床画像解析学※
その他	教授	大橋 敦子 (66) 高 <令和9年4月> 獣医学博士	大橋 敦子 (66) 高 <令和9年4月> 獣医学博士
		臨床画像解析学※	臨床画像解析学※
その他	教授	平野 剛 (59) <令和9年4月> 博士(薬学)	平野 剛 (59) <令和9年4月> 博士(薬学)
		調剤学※ 実務薬学※	調剤学※ 実務薬学※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	小林 達也 (62) <令和9年4月> 博士(薬学) 医薬品情報学※ 薬学学位 医療推計学※
その他	教授	高上馬 希重 (59) <令和9年4月> 博士(薬学) 薬用植物学 生薬学※ 漢方薬学概論
その他	教授	柴山 良彦 (58) <令和9年4月> 博士(医学) レギュラトリーサイエンス
その他	教授	小島 弘幸 (64) 高 <令和9年4月> 博士(医学) 環境衛生学
その他	教授	西 基 (69) 高 <令和9年4月> 医学博士 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 医療概論※
その他	教授	瀧田 洋一 (68) 高 <令和9年4月> 医学博士 医療概論※ 看護技術各論Ⅰ※
その他	教授	明野 伸次 (51) <令和9年4月> 博士(看護学) 看護学原論 看護技術論
その他	教授	桑原 ゆみ (56) <令和9年4月> 博士(看護学) 成人看護学※
その他	教授	木浪 智佳子 (61) <令和9年4月> 博士(看護学) 小児看護学※
その他	教授	近藤 里美 (65) 高 <令和9年4月> 修士(カウンセリング心理学) 音楽療法※
その他	教授	浅野 雅子 (52) <令和9年4月> 博士(芸術工学) 音楽療法※
その他	教授	向谷地 生良 (71) 高 <令和9年4月> 社会福祉学士 福祉と当事者のリアルⅠ※
その他	教授	福岡 麻紀 (56) <令和9年4月> 修士(教育学) スクールソーシャルワーク論※
その他	教授	富家 直明 (57) <令和9年4月> 博士(障害科学) スクールソーシャルワーク論※ 教育・学校心理学Ⅰ 教育・学校心理学Ⅱ
その他	教授	百々 尚美 (57) <令和9年4月> 博士(臨床心理学) 感情・人権心理学Ⅱ 心理学研究法
その他	教授	柳生 一自 (52) <令和9年4月> 博士(医学) 小児科学 精神疾患とその治療
その他	准教授	近藤(木村) 朋子 (55) <令和8年4月> 博士(理学) 文章指導(文章指導)
その他	准教授	木村 治 (55) <令和9年4月> 博士(薬学) 文章指導(文章指導) 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	小林 達也 (62) <令和9年4月> 博士(薬学) 医薬品情報学※ 薬学学位 医療推計学※
その他	教授	高上馬 希重 (59) <令和9年4月> 博士(薬学) 薬用植物学 生薬学※ 漢方薬学概論
その他	教授	柴山 良彦 (58) <令和9年4月> 博士(医学) レギュラトリーサイエンス
その他	教授	小島 弘幸 (64) 高 <令和9年4月> 博士(医学) 環境衛生学
その他	教授	西 基 (69) 高 <令和9年4月> 医学博士 公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 医療概論※
その他	教授	瀧田 洋一 (68) 高 <令和9年4月> 医学博士 医療概論※ 看護技術各論Ⅰ※ <b>人の依生学Ⅱ(臨床創製医療学Ⅱ)</b> <b>人の依生学Ⅲ(臨床創製医療学Ⅲ)</b> <b>人の依生学Ⅳ(臨床創製医療学Ⅳ)</b> <b>人の依生学Ⅴ(臨床創製医療学Ⅴ)</b>
その他	教授	明野 伸次 (51) <令和9年4月> 博士(看護学) 看護学原論 看護技術論
その他	教授	桑原 ゆみ (56) <令和9年4月> 博士(看護学) 成人看護学※
その他	教授	木浪 智佳子 (61) <令和9年4月> 博士(看護学) 小児看護学※
その他	教授	近藤 里美 (65) 高 <令和9年4月> 修士(カウンセリング心理学) 音楽療法※
その他	教授	浅野 雅子 (52) <令和9年4月> 博士(芸術工学) 音楽療法※
その他	教授	向谷地 生良 (71) 高 <令和9年4月> 社会福祉学士 福祉と当事者のリアルⅠ※
その他	教授	福岡 麻紀 (56) <令和9年4月> 修士(教育学) スクールソーシャルワーク論※
その他	教授	富家 直明 (57) <令和9年4月> 博士(障害科学) スクールソーシャルワーク論※ 教育・学校心理学Ⅰ 教育・学校心理学Ⅱ
その他	教授	百々 尚美 (57) <令和9年4月> 博士(臨床心理学) 感情・人権心理学Ⅱ 心理学研究法
その他	教授	柳生 一自 (52) <令和9年4月> 博士(医学) 小児科学 精神疾患とその治療
その他	准教授	近藤(木村) 朋子 (55) <令和8年4月> 博士(理学) 文章指導(文章指導)
その他	准教授	木村 治 (55) <令和9年4月> 博士(薬学) 文章指導(文章指導) 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
その他	准教授	井上 貴翔 (44) <令和8年4月> 博士(文学) 文章指導(文章指導)
その他	准教授	曙部 太一 (46) <令和8年4月> 修士(学際情報学) 人間と思想(科学技術社会と倫理) 人間と思想(生命倫理学入門) 多職種連携(多職種連携入門) ※
その他	准教授	鎌田 祐子 (61) <令和8年4月> 博士(文学) 英語Ⅱ(英語B)
その他	准教授	町田 拓自 (50) <令和8年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門) ※ 臨床画像解析学※
その他	准教授	中川 勉 (50) <令和8年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門) ※
その他	准教授	豊下 祥史 (52) <令和8年4月> 博士(歯学) 多職種連携(多職種連携入門) ※
その他	准教授	熊谷 歌織 (54) <令和8年4月> 博士(看護学) 多職種連携(多職種連携入門) ※ がん看護学※
その他	准教授	本谷 亮 (45) <令和8年4月> 博士(臨床心理学) 多職種連携(多職種連携入門) ※ 臨床心理学概論 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学※
その他	准教授	巻 康弘 (60) <令和8年4月> 修士(社会福祉学) 多職種連携(多職種連携実習) ※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践実習)※ 在宅看護学各論※
その他	准教授	宮地 晋子 (52) <令和9年4月> 博士(看護学) 多職種連携(多職種連携実習) ※ 精神看護学※ 保健医療福祉制度と看護※
その他	准教授	内ヶ島 伸也 (53) <令和8年4月> 博士(看護学) 多職種連携(多職種連携実習) ※ 老年看護学※ 看護倫理※
その他	准教授	大須田 祐亮 (44) <令和10年4月> 博士(理学療法学) 多職種連携(多職種連携実習) ※
その他	准教授	岩尾 一生 (56) <令和11年4月> 博士(薬学) 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践実習)※
その他	准教授	川添 恵理子 (64)高 <令和9年4月> 修士(看護学) 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践実習)※ 在宅看護学各論※
その他	准教授	児玉 社志 (44) <令和8年4月> 博士(作業療法学) リハビリテーション概論※ リハビリテーション論※
その他	准教授	川島 雄介 (40) <令和9年4月> 博士(歯学) 歯学概論※ 歯科放射線学Ⅱ
その他	准教授	広瀬 弥宗 (63)高 <令和9年4月> 博士(歯学) 歯学概論※
その他	准教授	原田 潤平 (50) <令和9年4月> 博士(理学) 医療推計学※
その他	准教授	小林 大祐 (49) <令和9年4月> 博士(薬学) 食品衛生学※ 毒性影響と評価※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
その他	准教授	井上 貴翔 (44) <令和8年4月> 博士(文学) 文章指導(文章指導)
その他	准教授	曙部 太一 (46) <令和8年4月> 修士(学際情報学) 人間と思想(科学技術社会と倫理) 人間と思想(生命倫理学入門) 多職種連携(多職種連携入門) ※
その他	准教授	鎌田 祐子 (61) <令和8年4月> 博士(文学) 英語Ⅱ(英語B)
その他	教授	町田 拓自 (50) <令和8年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門) ※ 臨床画像解析学※
その他	准教授	中川 勉 (50) <令和8年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門) ※
その他	教授	豊下 祥史 (52) <令和8年4月> 博士(歯学) 多職種連携(多職種連携入門) ※
その他	准教授	熊谷 歌織 (54) <令和8年4月> 博士(看護学) 多職種連携(多職種連携入門) ※ がん看護学※
その他	准教授	本谷 亮 (45) <令和8年4月> 博士(臨床心理学) 多職種連携(多職種連携入門) ※ 臨床心理学概論 臨床心理学Ⅰ 臨床心理学※
その他	准教授	巻 康弘 (60) <令和8年4月> 修士(社会福祉学) 多職種連携(多職種連携実習) ※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践実習)※ 在宅看護学各論※
その他	准教授	宮地 晋子 (52) <令和9年4月> 博士(看護学) 多職種連携(多職種連携実習) ※ 精神看護学※ 保健医療福祉制度と看護※
その他	准教授	内ヶ島 伸也 (53) <令和8年4月> 博士(看護学) 多職種連携(多職種連携実習) ※ 老年看護学※ 看護倫理※
その他	准教授	大須田 祐亮 (44) <令和10年4月> 博士(理学療法学) 多職種連携(多職種連携実習) ※
その他	准教授	岩尾 一生 (56) <令和11年4月> 博士(薬学) 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践実習)※
その他	准教授	川添 恵理子 (64)高 <令和9年4月> 修士(看護学) 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践実習)※ 在宅看護学各論※
その他	准教授	児玉 社志 (44) <令和8年4月> 博士(作業療法学) リハビリテーション概論※ リハビリテーション論※
その他	教授	川島 雄介 (40) <令和9年4月> 博士(歯学) 歯学概論※ 歯科放射線学Ⅱ
その他	准教授	広瀬 弥宗 (63)高 <令和9年4月> 博士(歯学) 歯学概論※
その他	准教授	原田 潤平 (50) <令和9年4月> 博士(理学) 医療推計学※
その他	准教授	小林 大祐 (49) <令和9年4月> 博士(薬学) 食品衛生学※ 毒性影響と評価※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
その他	准教授	北浦 廣剛 (59) <令和9年4月> 博士(薬学)	毒性影響と評価※
その他	准教授	寺崎 将 (53) <令和9年4月> 博士(水産科学)	公衆衛生学(薬学部)
その他	准教授	松岡 敏史 (47) <令和9年4月> 博士(臨床心理学)	公衆衛生学(歯学部)※ 公衆衛生学(リハビリテーション科学部)
その他	准教授	神田 直樹 (50) <令和9年4月> 修士(看護学)	成人看護学※ クリティカルケア論
その他	准教授	八木 こずえ (65) 高 <令和9年4月> 修士(看護学)	精神看護学※
その他	准教授	福井 純子 (58) <令和9年4月> 博士(看護学)	保健医療福祉制度と看護※ キャリア開発論※ 看護倫理※ セーフティマネジメント論※ 看護管理論
その他	准教授	今井 常晶 (65) 高 <令和9年4月> 修士(教育学)	障害者・障害児心理学
その他	准教授	金澤 潤一郎 (51) <令和9年4月> 博士(臨床心理学)	福祉心理学
その他	准教授	澤田 篤史 (48) <令和10年4月> 博士(スポーツ健康科学)	多職種連携(多職種連携演習)※ ※多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	准教授	長谷川 純子 (46) <令和9年4月> 博士(保健科学)	障がい学実務演習※
その他	講師	中山 章 (59) <令和8年4月> 博士(薬学)	文章指導(文章指導) 医療倫理(医療倫理学) 調剤学※ 地域医療学※
その他	講師	福家 健宗 (33) <令和8年4月> 博士(健康スポーツ科学)	健康・運動科学(運動科学論)※ 健康・運動科学演習(運動科学演習)※
その他	講師	井上 哲志郎 (40) <令和8年4月> 博士(体育科学)	健康・運動科学(運動科学論)※ 健康・運動科学演習(運動科学演習)※
その他	講師	近藤 尚也 (42) <令和8年4月> 修士(教育学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(多職種連携演習)※ ※アダプテッド・スポーツ演習 レクリエーションスポーツマネジメント
その他	講師	中安 隆志 (49) <令和8年4月> 修士(看護学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 精神看護学※ 在宅看護学各論※ 看護倫理※
その他	講師	関口 真有 (41) <令和8年4月> 博士(臨床心理学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 臨床心理学※ 健康・医療心理学Ⅱ 心理学的支援法Ⅰ 心理学的支援法Ⅱ
その他	講師	西郷 達雄 (40) <令和8年4月> 博士(医学)	多職種連携(多職種連携入門)※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
その他	准教授	北浦 廣剛 (59) <令和9年4月> 博士(薬学)	毒性影響と評価※
その他	准教授	寺崎 将 (53) <令和9年4月> 博士(水産科学)	公衆衛生学(薬学部)
その他	准教授	松岡 敏史 (47) <令和9年4月> 博士(臨床心理学)	公衆衛生学(歯学部)※ 公衆衛生学(リハビリテーション科学部)
その他	准教授	神田 直樹 (50) <令和9年4月> 修士(看護学)	成人看護学※ クリティカルケア論
その他	准教授	八木 こずえ (65) 高 <令和9年4月> 修士(看護学)	精神看護学※
その他	准教授	福井 純子 (58) <令和9年4月> 博士(看護学)	保健医療福祉制度と看護※ キャリア開発論※ 看護倫理※ セーフティマネジメント論※ 看護管理論
その他	准教授	今井 常晶 (65) 高 <令和9年4月> 修士(教育学)	障害者・障害児心理学
その他	准教授	金澤 潤一郎 (51) <令和9年4月> 博士(臨床心理学)	福祉心理学
その他	准教授	澤田 篤史 (48) <令和10年4月> 博士(スポーツ健康科学)	多職種連携(多職種連携演習)※ ※多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	准教授	長谷川 純子 (46) <令和9年4月> 博士(保健科学)	障がい学実務演習※
その他	講師	中山 章 (59) <令和8年4月> 博士(薬学)	文章指導(文章指導) 医療倫理(医療倫理学) 調剤学※ 地域医療学※
その他	講師	福家 健宗 (33) <令和8年4月> 博士(健康スポーツ科学)	健康・運動科学(運動科学論)※ 健康・運動科学演習(運動科学演習)※
その他	講師	井上 哲志郎 (40) <令和8年4月> 博士(体育科学)	健康・運動科学(運動科学論)※ 健康・運動科学演習(運動科学演習)※
その他	准教授	近藤 尚也 (42) <令和8年4月> 修士(教育学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(多職種連携演習)※ ※アダプテッド・スポーツ演習 レクリエーションスポーツマネジメント
その他	講師	中安 隆志 (49) <令和8年4月> 修士(看護学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 精神看護学※ 在宅看護学各論※ 看護倫理※
その他	講師	関口 真有 (41) <令和8年4月> 博士(臨床心理学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 臨床心理学※ 健康・医療心理学Ⅱ 心理学的支援法Ⅰ 心理学的支援法Ⅱ
その他	講師	西郷 達雄 (40) <令和8年4月> 博士(医学)	多職種連携(多職種連携入門)※

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
その他	講師	浅野 美子 (53) <令和8年4月> 修士(人間生活学)
		多職種連携(多職種連携入門) ※ 障がい者当事者論※ リハビリテーション論※
その他	講師	小林 健史 (54) <令和8年4月> 修士(教育学)
		多職種連携(多職種連携入門) ※ 障がい者当事者論※
その他	講師	近藤 啓 (50) <令和8年4月> 博士(医学)
		多職種連携(多職種連携入門) ※ 臨床検査管理学Ⅰ※
その他	講師	山田 拓 (54) <令和9年4月> 修士(看護学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※ 看護倫理※ セーフティマネジメント論※
その他	講師	飯泉 智子 (55) <令和10年4月> 博士(医学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※
その他	講師	若松 千裕 (45) <令和9年4月> 博士(医学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※ 障がい者当事者論※
その他	講師	前田 秀彦 (57) <令和10年4月> 修士(言語聴覚学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※
その他	講師	早坂 敬明 (59) <令和9年4月> 博士(薬学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※ 調剤学※ 実務薬学※
その他	講師	原田 文也 (40) <令和11年4月> 博士(歯学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	講師	葛西 聡子 (56) <令和11年4月> 修士(言語聴覚学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	講師	小野 誠司 (65) 高 <令和8年4月> 短期大学卒
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※ 臨床検査学※
その他	講師	山崎 智弘 (37) <令和8年4月> 博士(保健科学)
		臨床検査学※ 臨床検査管理学Ⅱ※
その他	講師	高橋 祐輔 (43) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床検査学※ 臨床検査管理学Ⅰ※
その他	講師	江本 美穂 (48) <令和9年4月> 博士(医学)
		臨床工学理論 臨床検査管理学Ⅰ※
その他	講師	高橋 祐司 (43) <令和9年4月> 博士(保健科学)
		医療情報科学 臨床検査管理学Ⅱ※ 健康食品学※
その他	講師	倉重 圭史 (49) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※
その他	講師	建部 廣明 (45) <令和9年4月> 博士(歯学)
		組織学・発生学※
その他	講師	佐藤 惇 (45) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
その他	講師	浅野 美子 (54) <令和8年4月> 修士(人間生活学)
		多職種連携(多職種連携入門) ※ 障がい者当事者論※ リハビリテーション論※
その他	講師	小林 健史 (54) <令和8年4月> 修士(教育学)
		多職種連携(多職種連携入門) ※ 障がい者当事者論※
その他	講師	近藤 啓 (51) <令和8年4月> 博士(医学)
		多職種連携(多職種連携入門) ※ 臨床検査管理学Ⅰ※
その他	講師	山田 拓 (54) <令和9年4月> 修士(看護学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※ 看護倫理※ セーフティマネジメント論※
その他	講師	飯泉 智子 (55) <令和10年4月> 博士(医学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※ リハビリテーション概論※
その他	講師	若松 千裕 (45) <令和9年4月> 博士(医学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※ 障がい者当事者論※
その他	講師	前田 秀彦 (57) <令和10年4月> 修士(言語聴覚学)
		多職種連携(多職種連携演習) ※
その他	講師	早坂 敬明 (59) <令和9年4月> 博士(薬学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※ 調剤学※ 実務薬学※
その他	講師	原田 文也 (40) <令和11年4月> 博士(歯学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	講師	葛西 聡子 (56) <令和11年4月> 修士(言語聴覚学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	講師	山崎 智弘 (37) <令和8年4月> 博士(保健科学)
		臨床検査学※ 臨床検査管理学Ⅱ※
その他	講師	高橋 祐輔 (43) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床検査学※ 臨床検査管理学Ⅰ※
その他	講師	江本 美穂 (48) <令和9年4月> 博士(医学)
		臨床工学理論 臨床検査管理学Ⅰ※
その他	講師	高橋 祐司 (43) <令和9年4月> 博士(保健科学)
		医療情報科学 臨床検査管理学Ⅱ※ 健康食品学※
その他	教授	倉重 圭史 (49) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※
その他	教授	建部 廣明 (45) <令和9年4月> 博士(歯学)
		組織学・発生学※
その他	講師	佐藤 惇 (45) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	吉田 光希 (46) <令和9年4月> 博士(歯学) 歯理学・口腔歯理学※ 臨床口腔歯理学※
その他	講師	鹿内 浩樹 (43) <令和9年4月> 博士(医学) 臨床画像解析学※
その他	講師	中谷 進紀 (58) <令和9年4月> 博士(歯学) 歯科放射線学Ⅱ
その他	講師	櫻田 渉 (60) <令和9年4月> 博士(薬学) 調剤学※ 地域医療学※
その他	講師	高村 茂生 (56) <令和9年4月> 学士(薬学) 実務薬学※ ヘルスエコノミクス※
その他	講師	金 尚永 (43) <令和9年4月> 博士(薬学) 生薬学※
その他	講師	村田 幸枝 (51) <令和9年4月> 博士(歯学) 社会歯科学※ 公衆衛生学(歯学部)※
その他	講師	久保 健忠 (50) <令和9年4月> 博士(薬学) ヘルスエコノミクス※
その他	講師	加藤 幸紀 (60) <令和9年4月> 博士(歯学) 医療概論※
その他	講師	明野 聖子 (49) <令和9年4月> 修士(看護学) ヘルスプロモーション論※ 地域在宅看護学※ 保健医療福祉制度と看護※
その他	講師	結原 治 (45) <令和9年4月> 博士(歯学) 公衆衛生学(歯学部)※
その他	講師	若濱 奈々子 (44) <令和9年4月> 修士(看護学) 老年看護学※
その他	講師	川崎 ゆかり (45) <令和9年4月> 修士(看護学) 小児看護学※
その他	講師	朝日 まどか (51) <令和9年4月> 修士(社会福祉学) 在宅看護学各論※
その他	講師	高木 由希 (52) <令和9年4月> 修士(看護学) セルフマネジメント支援論※
その他	講師	奥田 かおり (55) <令和9年4月> 修士(ソーシャルワーク) 家族療法
その他	講師	高橋 由紀 (50) <令和9年4月> 修士(福祉心理学) 認知症と生活支援※
その他	講師	齊藤 恵一 (59) <令和9年4月> 修士(行動科学) 学習・言語心理学Ⅱ 心理学統計法Ⅰ
その他	講師	沖野 久美子 (48) <令和8年4月> 博士(916)「行動科学」 ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 臨床検査管理Ⅰ※
その他	講師	只石 朋仁 (51) <令和8年4月> 博士(916)「行動科学」 リハビリテーション概論※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	吉田 光希 (46) <令和9年4月> 博士(歯学) 歯理学・口腔歯理学※ 臨床口腔歯理学※
その他	講師	鹿内 浩樹 (43) <令和9年4月> 博士(医学) 臨床画像解析学※
その他	講師	中谷 進紀 (58) <令和9年4月> 博士(歯学) 歯科放射線学Ⅰ
その他	講師	櫻田 渉 (60) <令和9年4月> 博士(薬学) 調剤学※ 地域医療学※
その他	講師	高村 茂生 (56) <令和9年4月> 学士(薬学) 実務薬学※ ヘルスエコノミクス※
その他	講師	金 尚永 (43) <令和9年4月> 博士(薬学) 生薬学※
その他	講師	村田 幸枝 (51) <令和9年4月> 博士(歯学) 社会歯科学※ 公衆衛生学(歯学部)※
その他	講師	久保 健忠 (50) <令和9年4月> 博士(薬学) ヘルスエコノミクス※
その他	講師	加藤 幸紀 (60) <令和9年4月> 博士(歯学) 医療概論※
その他	講師	明野 聖子 (49) <令和9年4月> 修士(看護学) ヘルスプロモーション論※ 地域在宅看護学※ 保健医療福祉制度と看護※
その他	講師	結原 治 (45) <令和9年4月> 博士(歯学) 公衆衛生学(歯学部)※
その他	講師	若濱 奈々子 (44) <令和9年4月> 修士(看護学) 老年看護学※
その他	講師	川崎 ゆかり (45) <令和9年4月> 修士(看護学) 小児看護学※
その他	講師	朝日 まどか (51) <令和9年4月> 修士(社会福祉学) 在宅看護学各論※
その他	講師	高木 由希 (52) <令和9年4月> 修士(看護学) セルフマネジメント支援論※
その他	講師	奥田 かおり (55) <令和9年4月> 修士(ソーシャルワーク) 家族療法
その他	講師	高橋 由紀 (50) <令和9年4月> 修士(福祉心理学) 認知症と生活支援※
その他	講師	齊藤 恵一 (59) <令和9年4月> 修士(行動科学) 学習・言語心理学Ⅱ 心理学統計法Ⅰ
その他	講師	沖野 久美子 (48) <令和8年4月> 博士(916)「行動科学」 ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 臨床検査管理Ⅰ※
その他	講師	只石 朋仁 (51) <令和8年4月> 博士(916)「行動科学」 リハビリテーション概論※

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
その他	助教	片山 寛信 (46) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 社会福祉総論※ 障害者福祉論 児童福祉論
その他	助教	山本 隆弘 (45) <令和8年4月> 博士(薬学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	助教	高田 紗理 (40) <令和8年4月> 博士(歯学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	助教	三津橋 梨絵 (48) <令和8年4月> 修士(看護学) ※ 看護倫理※ がん看護学※
その他	助教	上河邊 力 (37) <令和8年4月> 修士(臨床心理学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 学習・言語心理学Ⅰ 感情・人格心理学Ⅰ
その他	助教	倉山 裕望 (33) <令和8年4月> 修士(心理学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 発達心理学Ⅱ※ 発達心理学Ⅰ
その他	助教	多田 菊代 (49) <令和8年4月> 修士(保健学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	助教	辻村 礼央奈 (35) <令和8年4月> 修士(Health Care Science) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	助教	鈴木 和 (42) <令和8年4月> 修士(社会福祉学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 精神看護学※ 認知症ケア論
その他	助教	用田 歩 (33) <令和10年4月> 修士(教授システム学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※
その他	助教	佐藤 一成 (49) <令和8年4月> 修士(理学療法学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※ 障がい学生支援論※
その他	助教	齋藤 隆司 (33) <令和10年4月> 博士(保健科学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※
その他	助教	曾 悠希 (41) <令和11年4月> 博士(歯学) ※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	助教	依田 泰知 (38) <令和8年4月> 修士(保健科学) ※ リハビリテーション学概論※
その他	助教	高橋 昌己 (48) <令和9年4月> 博士(歯学) ※ 組織学・発生学※
その他	助教	岸本 有里 (34) <令和9年4月> 博士(歯学) ※ 組織学・発生学※
その他	助教	森川 智郎 (39) <令和9年4月> 博士(歯学) ※ 病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	助教	杉浦 一考 (57) <令和8年4月> 学士(歯学) ※ 歯科放射線学Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
その他	助教	片山 寛信 (46) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 障害者福祉論 児童福祉論
その他	助教	山本 隆弘 (45) <令和8年4月> 博士(薬学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	助教	高田 紗理 (40) <令和8年4月> 博士(歯学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	助教	三津橋 梨絵 (48) <令和8年4月> 修士(看護学) ※ 看護倫理※ がん看護学※
その他	助教	上河邊 力 (37) <令和8年4月> 修士(臨床心理学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 学習・言語心理学Ⅰ 感情・人格心理学Ⅰ
その他	助教	倉山 裕望 (33) <令和8年4月> 修士(心理学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 発達心理学Ⅱ※ 発達心理学Ⅰ
その他	助教	多田 菊代 (49) <令和8年4月> 修士(保健学) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	助教	辻村 礼央奈 (35) <令和8年4月> 修士(Health Care Science) ※ 多職種連携(多職種連携入門)※
その他	助教	鈴木 和 (42) <令和8年4月> 修士(社会福祉学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※ 精神看護学※ 認知症ケア論
その他	助教	用田 歩 (33) <令和10年4月> 修士(教授システム学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※
その他	助教	佐藤 一成 (49) <令和8年4月> 修士(理学療法学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※ 障がい学生支援論※
その他	助教	齋藤 隆司 (33) <令和10年4月> 博士(保健科学) ※ 多職種連携(多職種連携演習)※
その他	助教	曾 悠希 (41) <令和11年4月> 博士(歯学) ※ 多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)※
その他	助教	依田 泰知 (38) <令和8年4月> 修士(保健科学) ※ リハビリテーション学概論※
その他	助教	高橋 昌己 (48) <令和9年4月> 博士(歯学) ※ 組織学・発生学※
その他	助教	岸本 有里 (34) <令和9年4月> 博士(歯学) ※ 組織学・発生学※
その他	助教	森川 智郎 (39) <令和9年4月> 博士(歯学) ※ 病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	助教	杉浦 一考 (57) <令和8年4月> 学士(歯学) ※ 歯科放射線学Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	袁山 知里 (53) <令和9年4月> 修士(看護学)
		ヘルスプロモーション論※
その他	助教	松橋 久美子 (39) <令和9年4月> 修士(看護学)
		老年看護学※ 保健医療福祉制度と看護※ 認知症と生活支援※
その他	助教	谷本 真唯 (37) <令和9年4月> 修士(看護学)
		小児看護学※ 保健医療福祉制度と看護※
その他	助教	野崎 由希子 (56) <令和9年4月> 修士(看護学)
		母性看護学※
その他	助教	横川 亜希子 (43) <令和9年4月> 修士(看護学)
		看護技術各論Ⅰ※ 看護技術各論Ⅱ※
その他	助教	山口 夕貴 (41) <令和9年4月> 修士(看護学)
		看護技術各論Ⅰ※
その他	助教	米川 弘樹 (38) <令和9年4月> 修士(看護学)
		看護技術各論Ⅱ※
その他	助教	増田 悠佑 (49) <令和9年4月> 修士(看護学)
		在宅看護学各論※
その他	客員教授	大原 裕介 (46) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学)
		多職種連携(多職種連携入門)※ 地域共生社会実習Ⅰ 福祉と当事者のリアルⅠ※ マーケティング論※
その他	客員教授	越智 守生 (67) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※
その他	客員教授	狭間 研丞 (57) <令和9年4月> 博士(医学)
		地域医療学※
その他	客員教授	中川 貴美子 (56) <令和9年4月> 修士(臨床心理学)
		産業・組織心理学
その他	兼任講師	岡橋 智恵 (60) <令和11年4月> 学士(社会学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	兼任講師	秋元 奈美 (56) <令和11年4月> 専門学校卒
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	兼任講師	熊谷 由美子 (62) <令和9年4月> 博士(文学)
		英語Ⅱ(英語A)
その他	兼任講師	松田 朋彦 (43) <令和8年4月> 修士(法学)
		法学(法学概論) 法学(日本国憲法)
その他	兼任講師	安城(早川) 智美 (35) <令和9年4月> 修士(臨床心理学)
		多職種連携(多職種連携入門)※
その他	兼任講師	高橋 勇造 (39) <令和8年4月> 客員修士
		地域連携(地域ボランティア 論)
その他	兼任講師	西塚 拓海 (35) <令和8年4月> 修士(臨床心理学)
		心理学概論 心理学統計法Ⅱ
その他	兼任講師	佐藤 結希 (33) <令和9年4月> 学士(歯学)
		歯学概論※
その他	兼任講師	養輪 隆宏 (69) <令和9年4月> 歯学博士
		歯学概論※

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	袁山 知里 (53) <令和9年4月> 修士(看護学)
		ヘルスプロモーション論※
その他	助教	松橋 久美子 (39) <令和9年4月> 修士(看護学)
		老年看護学※ 保健医療福祉制度と看護※ 認知症と生活支援※
その他	助教	谷本 真唯 (37) <令和9年4月> 修士(看護学)
		小児看護学※ 保健医療福祉制度と看護※
その他	助教	野崎 由希子 (56) <令和9年4月> 修士(看護学)
		母性看護学※
その他	助教	横川 亜希子 (43) <令和9年4月> 修士(看護学)
		看護技術各論Ⅰ※ 看護技術各論Ⅱ※
その他	助教	山口 夕貴 (41) <令和9年4月> 修士(看護学)
		看護技術各論Ⅰ※
その他	助教	米川 弘樹 (38) <令和9年4月> 修士(看護学)
		看護技術各論Ⅱ※
その他	助教	増田 悠佑 (49) <令和9年4月> 修士(看護学)
		在宅看護学各論※
その他	客員教授	大原 裕介 (46) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学)
		多職種連携(多職種連携入門)※ 地域共生社会実習Ⅰ 福祉と当事者のリアルⅠ※ マーケティング論※
その他	客員教授	越智 守生 (67) <令和9年4月> 博士(歯学)
		歯学概論※
その他	客員教授	狭間 研丞 (57) <令和9年4月> 博士(医学)
		地域医療学※
その他	客員教授	中川 貴美子 (56) <令和9年4月> 修士(臨床心理学)
		産業・組織心理学
その他	兼任講師	岡橋 智恵 (60) <令和11年4月> 学士(社会学)
		多職種連携(全学連携地域包括 ケア実践演習)※
その他	兼任講師	熊谷 由美子 (62) <令和9年4月> 博士(文学)
		英語Ⅱ(英語A)
その他	兼任講師	松田 朋彦 (43) <令和8年4月> 修士(法学)
		法学(法学概論) 法学(日本国憲法)
その他	兼任講師	安城(早川) 智美 (35) <令和9年4月> 修士(臨床心理学)
		多職種連携(多職種連携入門)※
その他	兼任講師	高橋 勇造 (39) <令和8年4月> 客員修士
		地域連携(地域ボランティア 論)
その他	兼任講師	西塚 拓海 (35) <令和8年4月> 修士(臨床心理学)
		心理学概論 心理学統計法Ⅱ
その他	兼任講師	佐藤 結希 (33) <令和9年4月> 学士(歯学)
		歯学概論※
その他	兼任講師	養輪 隆宏 (69) <令和9年4月> 歯学博士
		歯学概論※

教員区分	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	担当授業科目名
その他	兼任講師	小林 秀樹 (67) <令和9年4月> 博士(歯学)	小林 秀樹 (67) <令和9年4月> 博士(歯学)
		組織学・発生学※	組織学・発生学※
その他	兼任講師	西 一幸 (68) <令和9年4月> 博士(医学)	西 一幸 (68) <令和9年4月> 博士(医学)
		組織学・発生学※	組織学・発生学※
その他	兼任講師	下野 正基 (81) <令和9年4月> 歯学博士	下野 正基 (81) <令和9年4月> 歯学博士
		病理学・口腔病理学※	病理学・口腔病理学※
その他	兼任講師	松坂 賢一 (61) <令和9年4月> 博士(歯学)	松坂 賢一 (61) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※	病理学・口腔病理学※
その他	兼任講師	松原 茂 (63) <令和9年4月> 博士(歯学)	松原 茂 (63) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※	病理学・口腔病理学※
その他	兼任講師	瀧野 弘規 (64) <令和9年4月> 博士(歯学)	瀧野 弘規 (64) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※	病理学・口腔病理学※
その他	兼任講師	清水 重善 (53) <令和9年4月> 博士(歯学)	清水 重善 (53) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	青木 一太 (52) <令和9年4月> 博士(歯学)	青木 一太 (52) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	神野 由貴 (49) <令和9年4月> 博士(歯学)	神野 由貴 (49) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	高橋 耕一 (47) <令和9年4月> 博士(歯学)	高橋 耕一 (47) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	宇津宮 雅史 (50) <令和9年4月> 博士(歯学)	宇津宮 雅史 (50) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	中條 貴俊 (39) <令和9年4月> 博士(歯学)	中條 貴俊 (39) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	大西 隼 (35) <令和9年4月> 博士(歯学)	大西 隼 (35) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	高橋 周平 (32) <令和9年4月> 博士(歯学)	高橋 周平 (32) <令和9年4月> 博士(歯学)
		病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※	病理学・口腔病理学※ 臨床口腔病理学※
その他	兼任講師	吉田 栄一 (68) <令和9年4月> 歯学博士	吉田 栄一 (68) <令和9年4月> 歯学博士
		地域医療学※ ヘルスエコノミクス※	地域医療学※ ヘルスエコノミクス※
その他	兼任講師	水谷 博幸 (68) <令和9年4月> 博士(歯学)	水谷 博幸 (68) <令和9年4月> 博士(歯学)
		社会歯科学※ 公衆衛生学(歯学部)※	社会歯科学※ 公衆衛生学(歯学部)※
その他	兼任講師	丹下 貴司 (66) <令和9年4月> 博士(歯学)	丹下 貴司 (66) <令和9年4月> 博士(歯学)
		社会歯科学※	社会歯科学※
その他	兼任講師	井田 有亮 (44) <令和9年4月> 博士(歯学)	井田 有亮 (44) <令和9年4月> 博士(歯学)
		社会歯科学※	社会歯科学※
その他	兼任講師	本田 和枝 (57) <令和9年4月> 博士(理学)	本田 和枝 (57) <令和9年4月> 博士(理学)
		社会歯科学※	社会歯科学※
その他	兼任講師	杉本 洋 (55) <令和9年4月> 博士(歯学)	杉本 洋 (55) <令和9年4月> 博士(歯学)
		社会歯科学※	社会歯科学※
その他	兼任講師	本間 直幸 (57) <令和9年4月> 博士(理学)	本間 直幸 (57) <令和9年4月> 博士(理学)
		健康食品学※	健康食品学※
その他	兼任講師	宇野 智子 (47) <令和9年4月> 修士(看護学)	宇野 智子 (47) <令和9年4月> 修士(看護学)
		健康食品学※	健康食品学※

教員区分	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
その他	兼任講師	簡清 さとみ (42) <令和9年4月> 博士(学術)	簡清 さとみ (42) <令和9年4月> 博士(学術)
		健康食品学※	健康食品学※
その他	兼任講師	川勾 亜紀奈 (44) <令和9年4月> 修士(臨床福祉学)	川勾 亜紀奈 (44) <令和9年4月> 修士(臨床福祉学)
		社会保障論	社会保障論
その他	兼任講師	大友 芳恵 (69) <令和9年4月> 博士(教育学)	大友 芳恵 (69) <令和9年4月> 博士(教育学)
		公的扶助論	公的扶助論
その他	兼任講師	志渡 晃一 (72) <令和9年4月> 博士(社会福祉学)	志渡 晃一 (72) <令和9年4月> 博士(社会福祉学)
		公衆衛生学(心理科学部)	公衆衛生学(心理科学部)
その他	兼任講師	佐々木 敬明 (82) <令和9年4月> 文学士	佐々木 敬明 (82) <令和9年4月> 文学士
		精神看護学※	精神看護学※
その他	兼任講師	増澤 綾子 (49) <令和9年4月> 修士(音楽療法士)	増澤 綾子 (49) <令和9年4月> 修士(音楽療法士)
		音楽療法※	音楽療法※
その他	兼任講師	近藤 綾香 (38) <令和9年4月> 学士(臨床福祉学)	近藤 綾香 (38) <令和9年4月> 学士(臨床福祉学)
		地域共生社会演習Ⅰ 福祉と当事者のリアルⅠ※	地域共生社会演習Ⅰ 福祉と当事者のリアルⅠ※
その他	兼任講師	酒井 英結 (26) <令和9年4月> 学士(コミュニティ福祉学)	酒井 英結 (26) <令和9年4月> 学士(コミュニティ福祉学)
		地域共生社会演習Ⅰ 福祉と当事者のリアルⅠ※ マーケティング論※	地域共生社会演習Ⅰ 福祉と当事者のリアルⅠ※ マーケティング論※
その他	兼任講師	大倉 雄一 (41) <令和9年4月> 修士(臨床心理学)	大倉 雄一 (41) <令和9年4月> 修士(臨床心理学)
		発達心理学Ⅱ※	発達心理学Ⅱ※
その他	兼任講師	河内 康典 (50) <令和9年4月> 修士(都市政策)	河内 康典 (50) <令和9年4月> 修士(都市政策)
		マーケティング論※	マーケティング論※
その他	兼任講師	加藤 敬太 (49) <令和9年4月> 博士(商学)	加藤 敬太 (49) <令和9年4月> 博士(商学)
		マネジメント論	マネジメント論
その他	兼任講師	佐久間 仁 (58) <令和9年4月> 博士(法学)	佐久間 仁 (58) <令和9年4月> 博士(法学)
		権利擁護・成年後見制度論	権利擁護・成年後見制度論
その他	兼任講師	足野 照美 (62) <令和9年4月> 修士(デザイン学)	足野 照美 (62) <令和9年4月> 修士(デザイン学)
		知覚・認知心理学 心理情報処理	知覚・認知心理学 心理情報処理
その他	兼任講師	田嶋 佳子 (54) <令和9年4月> 修士(社会心理学)	田嶋 佳子 (54) <令和9年4月> 修士(社会心理学)
		社会・集団・家族心理学Ⅰ	社会・集団・家族心理学Ⅰ
その他	兼任講師	森田 英智代 (64) <令和9年4月> 経営管理修士	森田 英智代 (64) <令和9年4月> 経営管理修士
		労働安全衛生論	労働安全衛生論
その他	兼任講師	岩立 麗一郎 (54) <令和9年4月> 経営管理修士	岩立 麗一郎 (54) <令和9年4月> 経営管理修士
		行動経済学	行動経済学

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の第3号(その2の1)(その2の2)に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」は設置認可時又は届出時の教員全て(最終教員(大学院の研究員又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。
- ・その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・年報は、それぞれの年度の5月1日時点の属年齢を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にある「担当授業科目名」に下線を付けてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・教員がバテカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の数は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新田がカリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新がカリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧がカリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【令和8年度】**

- ・「多職種連携（多職種連携入門）」 科目担当者の変更 基幹教員（教授）1名追加（1名→2名）、基幹教員以外の教員3名削除（34名→31名）
- ・「多職種連携（多職種連携演習）」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員2名削除（20名→18名）
- ・「多職種連携（全学連携地域包括ケア実践演習）」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員4名削除（22名→18名）
- ・「人の体を学ぶ（臨床解剖疾病学Ⅰ～Ⅶ）」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員1名変更
- ・「社会福祉概論」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員3名削除（3名→0名）
- ・「リハビリテーション概論」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員1名変更
- ・「臨床検査学」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員1名変更
- ・「歯学概論」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員4名削除（32名→28名）
- ・「組織学・発生学」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員1名削除（6名→5名）
- ・「医療概論」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員1名削除（5名→4名）
- ・「母性看護学」 科目担当者の変更 基幹教員以外の教員1名削除（2名→1名）

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第二条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
11 名	6 名	9 名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数」として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B'))	助手(B')
6	2	2	1	11	9	0	6	2	2	1	11	9	0
(6)	(2)	(2)	(1)	(11)	(9)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D'))	助手(D')
6	2	2	1	11	9	0	6	2	2	1	11	9	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	3 名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) =  $\frac{11}{11} = 100$  %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') =  $\frac{9}{9} = 100$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) =  $\frac{2}{11} = 18.18$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) =  $\frac{0}{0} = -$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		【該当なし】							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(注) ・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		【該当なし】							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(注) ・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。

（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{11} = 0\%$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注) ・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		【該当なし】								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時  (令和8年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項  定年を迎える教員の後任として、若手・中堅教員を採用するなど、年齢構成の偏りを是正するよう検討を行なっている。 教員組織については、実質的な教育研究活動の質を維持できるよう、必要に応じて学部長会議、評議会等で審議し体制を整備する。	履行中  同左
認可時  (令和8年)	・看護福祉学部看護学科の収容定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項  令和8年度の看護学科における在籍学生数は500名であり、収容定員充足率は125%となっている。入学者数については、例年、おおむね定員の1.0～1.1倍を目標としているが、令和8年度の入学者選抜においては、他大学の入試動向や受験者層の変化の影響により、合格者発表時点では適正と見込んでいた入学者数に対し、最終的な辞退者が昨年度よりも下回り、やむを得ず定員を上回る入学者数となり、定員を超過する形となっている。	履行中  今後は、過去の入試データの分析をさらに精緻化するとともに、入学手続状況の把握方法の改善や追加合格の運用見直し等を行い、適正な入学者数管理に努める。
認可時  (令和8年)	・リハビリテーション科学部理学療法学科の収容定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項  令和8年度の理学療法学科の在籍学生数は371名であり、収容定員充足率は115.9%となっている。入学者数については、例年、おおむね定員の1.0～1.1倍を目標としているが、理学療法学科においては、志願者の併願状況や進路選択に関する動向が年々多様化・複雑化しており、とりわけ近年は保健医療系分野に対する志向の変化等の影響も相まって、入学手続者数の見通しを立てることが一層困難な状況となっている。令和8年度入学者選抜においては、合格者数の段階では適正な範囲内に収まると見込んでいたものの、最終的な入学辞退者が想定を下回った結果、入学定	履行中  入学定員超過については、引き続き、入学者の併願状況や入学手続きに至る意思決定過程の把握など、詳細な原因分析を行うとともに、過年度データの分析精度の向上を図ることで、より実態に即した入学者数の予測に努める。
認可時  (令和8年)	・医療技術学部臨床検査学科の収容定員超過の是正に努めること。	【届出】 遵守事項  令和8年度の看護学科における在籍学生数は289名であり、収容定員充足率は120.4%となっている。入学者数については、例年、おおむね定員の1.0～1.1倍を目標としているが、令和8年度の入学者選抜においては、近年の受験生の進路選択の多様化や併願動向の変化等の影響により、入学手続状況の見通しが難しい状況にあった。そのような中、一般選抜の合格者数については慎重に設定し、例年よりも抑制した水準としていたものの、結果として入学辞退者が例年に比してやや少なかったことから、最終的な入学者数が想定を上回り、やむを得ず入学定員を超過する結果	履行中  今後は、過去の入試結果の分析に加え、志願動向や手続率の精緻な把握に努めるとともに、合格者数の設定について一層慎重に検討することで、適正な学生数の確保に取り組んでいく。

<p>認可時</p> <p>(令和8年)</p>	<p>・看護福祉学部福祉マネジメント学科の収容定員未充足の是正に努めること。</p>	<p>【届出】 遵守事項</p>	<p>令和8年度の福祉マネジメント学科の在籍学生数は138名であり、収容定員充足率43.1%となっている。入学者の確保に向け令和8年度は、新たな学科リーフレットの作成に加え、オープンキャンパス実施内容の改善や在学生によるSNS広報などを強化し、より幅広い志願者層の確保に向けた広報活動を行った。また、令和8年度入学生より、カリキュラムの見直しや特待奨学生制度の拡充を実施し、入学者の確保を通じて学科の収容定員未充足の是正に努めているが、令和8年度の入学者数は36名（入学定員充足率48%）となっている。</p>	<p>履行中</p>	<p>今後は、学科HP内容の改修や移転広報の強化による認知度の向上、模擬講義実施内容の改善、高校の探究学習への参画等を通し、福祉マネジメント学科志願者数の確保に向けた取り組みを実施し、入学者の確保を通じて学科の収容定員未充足の是正に努める。</p>
--------------------------	--	----------------------	---	------------	--

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

**【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。

**【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <臨床データサイエンス学環>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
学位又は学科の分野【教育課程等の概要】 文学関係、社会学・社会学・社会学関係、保健衛生学関係（看護学関係）、保健衛生学関係（リハビリテーション関係）、保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）	学位又は学科の分野【教育課程等の概要】 社会学・社会学関係、保健衛生学関係（看護学関係）、保健衛生学関係（リハビリテーション関係）、保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く） ※事前相談結果に基づき「文学関係」を削除

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学FD委員会【全学組織】</li> <li>* 臨床データサイエンス学環FD委員会【全学FD委員会の下部組織】</li> </ul> <p>&lt;FD委員会規程&gt;抜粋</p> <p>第2条 本学に、全学的見地から教育内容及び教育方法の改善を図るとともに教員の教育方法等にかかる能力開発を推進するため、全学FD委員会を置く。</p> <p>2 全学FD委員会のもとに、次の各号に掲げる委員会を置く。</p> <p>(1)～(12) 省略</p> <p>(13) 臨床データサイエンス学環FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学FD委員会：11回開催（令和7年度実績）※委員は学内教員15名で構成され、事務職員も複数名出席</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修（基本編）実施要領 ③FD研修（テーマ編）実施要領 ④授業アンケート実施要領 ⑤授業公開実施要領 他</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学FD委員会関連：FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート、授業公開、TA研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学FD委員会関連：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修（基本編）：講義およびワークショップ形式 [年1回・4月（1日間）]</li> <li>・FD研修（テーマ編）：講義およびワークショップ形式 [年1回・7月（1日間）]</li> <li>・FDセミナー：講演形式 [年3回（SDセミナーと合同開催）]</li> <li>・TA研修会：講義形式 [年1回・5月（1日間）]</li> <li>・授業評価アンケート：最終授業時間にGoogleフォーム（設問10問・5段階評価）で実施 [年2回・前後期末]</li> <li>・授業公開：全教員対象 [通年・随時]</li> </ul> </li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 全学FD委員会関連：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD研修（基本編）：令和7年4月2日（水）10:00～16:00 [参加教員等31名]</li> <li>・FD研修（テーマ編）：令和7年7月31日（木）9:40～15:55 [参加教員等110名]</li> <li>・TA研修会：令和7年5月13日（火）17:15～17:45 [参加TA14名]</li> </ul> </li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>全学においてFD研修（基本編、テーマ編）を「学生を中心とした教育をすすめるために」をメインテーマに据え、さらにそれぞれサブテーマを設けて実施した。当該研修の参加教員より所属学部等の教員に内容等が報告され、各教員における授業運営や学生支援の改善・向上に資している。</p>
---

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
    - ・ R8前期より実施予定（年2回・前後期末：各授業科目最終講義時）
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - ・ 各科目の授業評価アンケートの集計・分析の結果は、各担当教員にフィードバックしており、担当教員は学生の自由意見等も参考に今後の授業改善に活用している。併せて各科目のアンケート結果については、原則として担当教員名とともに学内専用ページで公表し、学生・教職員が閲覧することができるようにしている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

【該当なし】

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 本学環は、データ分析・解析・AIなどにかかるスキルを身につけ、複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場で医療人としての視点から解決策を策定できるデータサイエンティストの養成を目的としている。当該目的を果たすべく編成された授業科目については、すべて計画通りに開講しており、これらの趣旨・目的はHPや発行物で広く周知を行っている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
    - ・ 令和8年5月末 公表予定（令和7年度実施点検・評価結果の公表）
  - b 公表方法
    - ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和8年5月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・ 令和6年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第5回）を受審し、令和7年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和8年度）
- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]
- ≪ aで「有」の場合≫
- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]
  - c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]
- ≪ aで公表「無」の場合≫
- d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## (目的)

第1条 この規程は、学則第14条第2項の規定に基づき、FD委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

## (組織)

第2条 本学に、全学的見地から教育内容及び教育方法の改善を図るとともに教員の教育方法等にかかわる能力開発を推進するため、全学FD委員会をおく。

2 全学FD委員会のもとに、次の各号に掲げる委員会を置く。

- (1) 薬学部FD委員会
- (2) 薬学研究科FD委員会
- (3) 歯学部FD委員会
- (4) 歯学研究科FD委員会
- (5) 看護福祉学部FD委員会
- (6) 看護福祉学研究科FD委員会
- (7) 心理科学部FD委員会
- (8) 心理科学研究科FD委員会
- (9) リハビリテーション科学部FD委員会
- (10) リハビリテーション科学研究科FD委員会
- (11) 医療技術学部FD委員会
- (12) 医療技術科学研究科FD委員会
- (13) 臨床データサイエンス学環FD委員会

## (全学FD委員会)

第3条 全学FD委員会に委員長を置き、委員の中から学長が委嘱する。

2 全学FD委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 全学教育推進センター職員から学長が指名する者若干名
- (2) 第2条第2項各号の委員会から委員長各1名。ただし、学部FD委員会の委員長が研究科FD委員会の委員長を兼ねている学部にあつては、別に学部FD委員会からもう1名。
- (3) その他学長が必要と認めた者

3 前項に掲げる委員は、評議会の議を経て、学長が委嘱する。

4 第2項第1号及び第3号に掲げる委員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

5 第2項第2号に掲げる委員の任期はその在任期間とする。

6 委員に欠員が生じた場合の補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

7 委員長を補佐するため、全学FD委員会に副委員長を置くことができる。

8 副委員長は、委員の中から委員長が指名する。

## (招集及び議長)

第4条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

3 委員会は原則として毎月1回開催する。

## (会議の成立)

第5条 委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## (全学FD委員会の審議事項)

第6条 委員会は、次の各号に定める事項を審議する。

- (1) 教育課程・体制の点検・評価及び改善方法の計画・提案に関する事項
- (2) 講義及び演習・実習に対する学生の授業評価項目の改善並びに実施方法の計画と提案に関する事項
- (3) 授業法の開発と改善に対する具体的計画と提案に関する事項
- (4) 教員研修プログラムの開発と研修方法の計画と提案に関する事項
- (5) その他、本学におけるFDに関する事項

2 委員長は審議結果を学長に報告し、評議会及び教授会へ報告するものとする。

(各学部・学環・研究科ごとに設置するFD委員会)

第7条 第2条第2項に定める委員会は、全学FD委員会の基本方針に基づき、FDの具体的計画立案と実施を担当する。

2 第1項の委員会は、当該実施部局の教授会等において組織される。

3 第1項の委員会の構成及び委員長は当該実施部局に委任する。

(連携)

第8条 FD活動の実施に当たっては、全学FD委員会、各学部・学環・研究科ごとに設置されるFD委員会、全学教育推進センターが、相互に連携・協力し、実施しなければならない。

(事務の所管)

第9条 委員会に関する事務は、学務部教務企画課が所管する。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、評議会の議を経て学長が定める。

附 則

1 この規程は、平成7年4月1日から施行する。

2 この規程の施行の際、現に委員であるものは第3条の規定によるものとみなし、平成8年3月31日までの任期とし、以降、1年ごとに委員の半数を改選するものとする。

附 則

この規程は、平成9年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年9月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成22年1月21日から施行する。

2 この規程の施行の際、現に委員である者は、なお従前の規定による。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度における設置基準上の必要基幹教員数 (α)	うち、完成年度における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数 (α) の4分の3以上)
24 名	12 名	18 名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(A')	助手 (A'')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(B')	助手 (B'')
16	12	11	16	55	55	0	14	13	13	14	54	54	0
(14)	(13)	(13)	(14)	(54)	(54)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(C')	助手 (C'')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(D')	助手 (D'')
14	13	13	14	54	54	0	14	13	13	14	54	54	0
[ Δ2 ]	[ +1 ]	[ +2 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ +1 ]	[ +2 ]	[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計 (A) 」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(A' )」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、( ) 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在（報告時）の完成年度時の状況(C) =  $\frac{54}{55} = 98.18\%$   
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在（報告時）の完成年度時の状況(C') =  $\frac{54}{55} = 98.18\%$   
 設置時の計画(A')

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{●●}{54} = \text{ } \%$   
 現在（報告時）の状況(B)

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C'') =  $\frac{0}{0} = \text{ } \%$   
 設置時の計画(A'')

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第二条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
8	4	6
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数」として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	5	3	2	14	0	4	5	3	1	13	0
(4)	(5)	(3)	(1)	(13)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	5	3	2	14	0	4	5	3	1	13	0
(4)	(5)	(3)	(1)	(13)	(0)						

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A')」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) =  $\frac{14}{14} = 100$  %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') =  $\frac{0}{0} = 100$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) =  $\frac{0}{13} = 0$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') =  $\frac{0}{0} = -$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第二条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
24 名	12 名	18 名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数」として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
16	9	17	8	50	0	15	9	18	7	49	0
(15)	(9)	(18)	(7)	(49)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
15	9	18	7	49	0	15	9	18	7	49	0
[+1]	[0]	[+1]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[+1]	[0]	[+1]	[Δ1]	[Δ1]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A'）」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) =  $\frac{49}{50} = 98\%$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') =  $\frac{49}{50} = 98\%$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) =  $\frac{●●}{49} = \text{ } \%$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) =  $\frac{0}{0} = \text{ } \%$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第二条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員数等【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
14 名	7 名	11 名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数」として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員数等【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
8	1	8	0	17	0	8	2	7	0	17	0
(8)	(2)	(7)	(0)	(17)	(0)	(8)	(2)	(7)	(0)	(17)	(0)
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	2	7	0	17	0	8	2	7	0	17	0
[ 0 ]	[ +1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ +1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
●●	●●	●●
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) / 設置時の計画(A) =  $\frac{17}{17} = 100$  %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') =  $\frac{0}{0} = 100$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 / 現在(報告時)の状況(B) =  $\frac{0}{17} = 0$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') / 設置時の計画(A') =  $\frac{0}{0} = -$  %

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。